

全国漁業信用基金協会 福井支所

1. 福井県の紹介

福井県は、中部地方の北西部に位置し、日本海に面しています。海や山に囲まれた自然豊かな環境で、東尋坊や三方五湖などの景勝地が有名です。人口は約76万人で全国第43位の人口ですが、平均寿命や子どもの学力などさまざまな分野では日本のトップクラスで、日本総合研究所が発表した「全47都道府県幸福度ランキング」では、2014年版から2022年版まで5回連続で日本一に輝いています。

天候については、冬季は日照が少なく、大陸から吹き出す冷たく乾燥した季節風が暖かい日本海を渡る際、海面から熱と水蒸気を大量に補給されて、つぎつぎと雪雲が発生させることで、多くの降雪があり、近年では市街地でも1メートルを超える積雪が度々あり、多くの車が立ち往生し、大渋滞をしているところなど



東尋坊



福井県立恐竜博物館

が全国ニュースに流れています。

また、近年注目され、力を入れているのが、『恐竜』です。日本で発掘された恐竜化石の8割は福井県で見つかり、日本最大の恐竜化石発掘現場があることから、福井県は恐竜王国とも呼ばれています。恐竜化石が多数発掘されている勝山市には「福井県立恐竜博物館」があり、世界三大恐竜博物館の一つに数えられ、県内外から多くの観光客が訪れる県内随一の人気の施設です。

また、令和6年3月16日には北陸新幹線が敦賀まで延伸され、東京から福井までの所要時間は最短2時間51分となり、これまでより36分短縮され、首都圏との時間距離が大きく縮まります。これにより、多くの観光客や新たなビジネスも期待されており、県庁所在地でもある福井駅周辺は再開発が急ピッチで行われ、受け入れ態勢も整いつつあります。



2. 福井県の漁業

日本海側のほぼ中央に位置し、日本海側では屈指の好漁場といわれている若狭湾に面しております。

若狭湾は越前岬と経ヶ岬を結んだ線で外洋と区分され、若狭湾では、対馬暖流の一部と冷たい日本海固有水とが混ざり合い、日本海随一の豊かな海といわれています。

福井県の海岸線の総延長は415kmで、敦賀から北を越前（嶺北）、西を若狭（嶺南）と呼びます。

北の越前海岸は単調な海岸線と急峻な地形

を有し、海は急激に深くなっているため漁場が近く、昔から漁船漁業が盛んです。

特に底曳網漁業により漁獲される「越前がに」は全国区のブランドであり、カニでは初の「地理的表示



カニ曳



越前がに極

保護制度 (GI)」に登録し、特にプレミアムブランドとして2015年より甲羅幅14.5cm以上、重さ1.3kg以上、爪の幅3cm以上の極大サイズのオスのズワイガニを「越前がに 極」として売り出しており、今年度は260万円で落札されるなど、福井県の漁業並びに観光においても重要な資源となっています。

一方、西の若狭地方は日本海側では珍しいリアス式海岸となっており、海は穏やかで、水深の浅い大陸棚が広がり、昔より定置網漁業を始めとする沿岸漁業が盛んに行われており、養殖漁業（フグ、タイ、マハタ等）も行

われ、近年は、特にトラウトサーモンの養殖に力を入れており、生産額も増えてきています。養殖生産拡大のための施設の拡充を行っており、今年度は182tの水揚げがあり、来年度は400tの水揚げを見込んでおり、今後が期待されています。



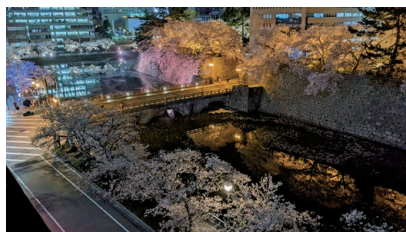
福井サーモン魚体



福井サーモン漁獲シーン

3. 福井支所の概要

- 住 所：福井県福井市大手2丁目8番地10号
(福井県水産会館5階)
- 電話 番 号：0776-22-6279
- 運営委員長：小林利幸 (県漁連会長)
- 会 員 数：217 会員
- 出 資 総 額：846,550 千円
- 保 証 残 高：2,394,541 千円
- 職 員 数：3 名
(令和5年3月31日現在)



事務所から見える風景



4. 福井支所の取り組み

福井県の漁業状況は厳しさを増していますが、漁船リース事業及び養殖に係る種苗・餌料購入等の新規需要に対する保証増加により、保証残高も回復傾向にあります。

当支所としては、漁業者を支える保証機関としての役割を十分に認識し、保証需要に適切に対応することにより、本県の漁業者の経営をサポートしてまいります。

